

化学工学会 第 47 会秋季大会

シンポジウム〈実用化を目指す機能性微粒子の高機能化（材料・界面部会）〉 報告書

オーガナイザー

塩盛 弘一郎（宮崎大学）

渡邊 哲（京都大学）

武井 孝行（鹿児島大学）

本シンポジウムは一般講演 16 件で構成され、秋季大会 2、3 日目に開催された。講演は大学 15 件、企業 1 件の内訳で、大学の比率が高かった。シンポジウムをとおして聴講者は 20～30 名程度であった。本シンポジウムでは「発表 12 分+討論 8 分」という討論重視の時間配分とした。討論 8 分間に活発な質疑が行われ、十分な討論を行うことができた。講演があった微粒子のサイズとしてはナノからミリまで幅広く、また、材料は有機物や無機物、固体、ゲルなど様々であり、それらの研究開発における化学工学の役割や貢献を十分に認識できるものであった。

以上